Panasonic®

保管用

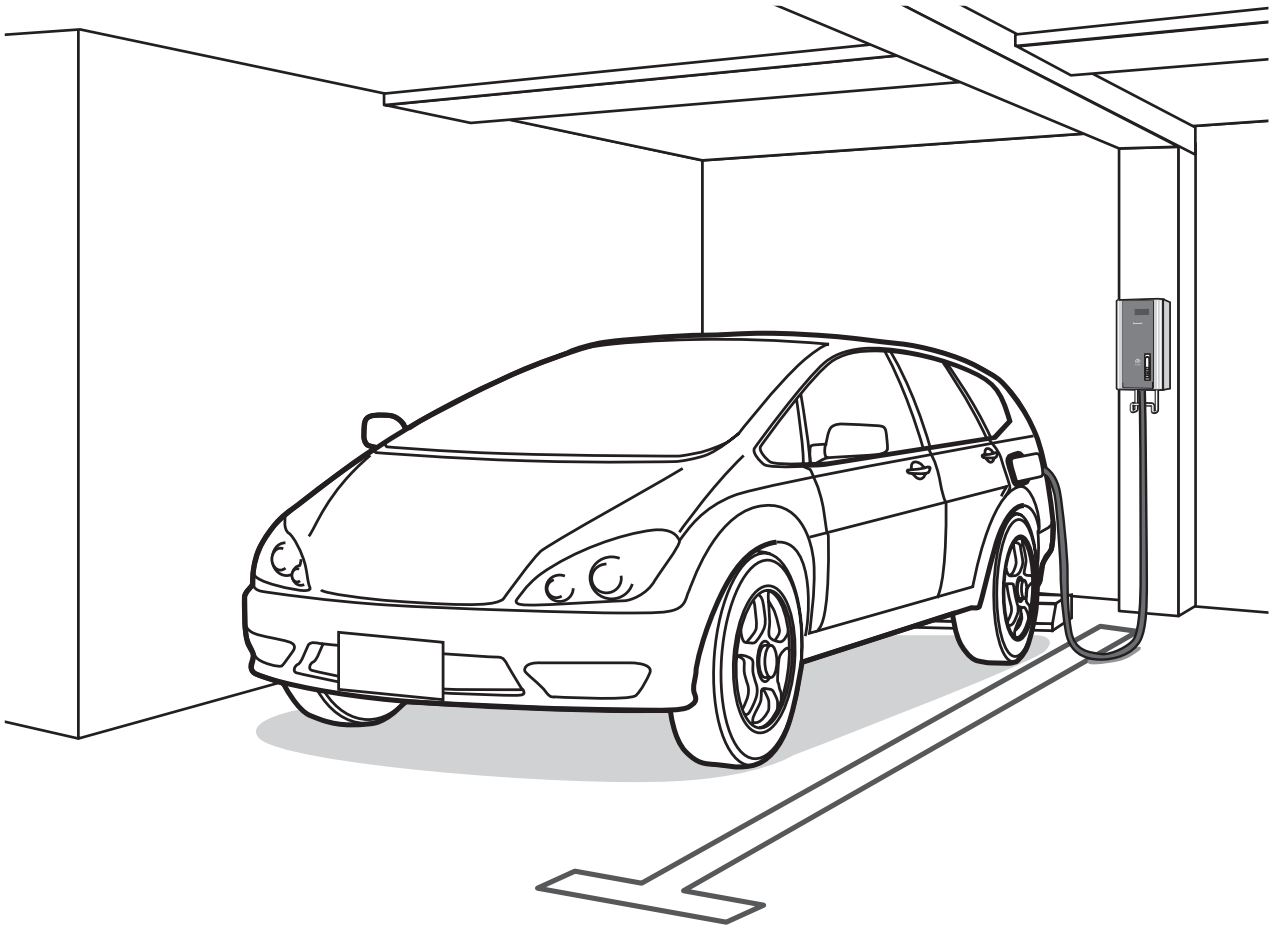
施工説明書

EV・PHEV充電用 充電ボックス

エルシーヴ　キャビ

ELSEEV cabi

品番	BPE 011	BPE 021	BPE 111	BPE 121



■ この施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

■ 工事をする前に「安全上のご注意」および「施工上のご注意」（3ページ）を必ずお読みください。

■ この施工説明書は取扱説明書とともにお客様で保管していただくようにしてください。

生産終了品
この商品は生産終了につき
製造することができません。

もくじ

安全上のご注意 …… 3
施工上のご注意 …… 3
製品構成と各部のなまえ …… 4
仕　様 …… 5
外形寸法 …… 5
据え付け工事 …… 6
電気配線工事 …… 8
動作確認 …… 10
施工確認チェックリスト …… 11

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

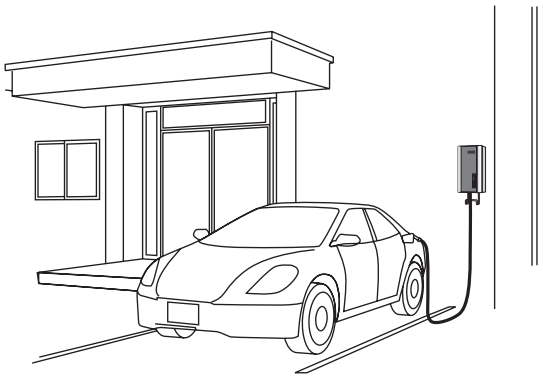
禁止	●電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない 感電・火災の原因になります。
	●活線工事はしない 感電の原因になります。
	●製品の分解・改造はしない 感電・火災の原因になります。
	●冠水するところには設置しない 感電・漏電事故の原因になります。
必ず守る	●充電ボックス・コンセントブロックにはD種接地工事を行う 守らないと感電の原因になります。
	●必ず1回路ごとに漏電ブレーカを設置する 守らないと感電の原因になります。
	●漏電ブレーカの動作を確認する 守らないと感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止	●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない 火災の原因になります。
	●製品の上に乗ったり、ぶらさがったりしない けがの原因になります。
必ず守る	●施工は、施工説明書通りに正確に行う 守らないと落下によるけがの原因になります。
	●工事作業中は、手袋などの保護具を着用する けがの原因になります。
	●運搬、設置の際は周囲の安全を十分確認する 落下・転倒によるけがの原因になります。

施工上のご注意

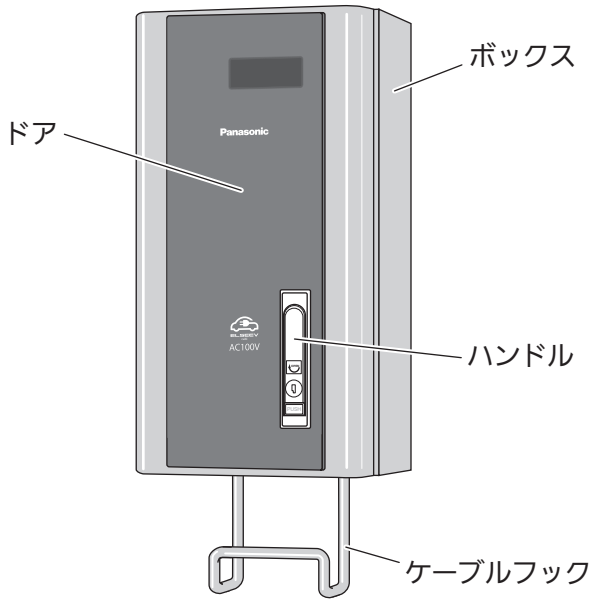
- 次の場所には設置しないでください。
  - ・階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所。
  - ・風速 15 m/s 以上の強風が吹く場所。
  - ・使用温度範囲を超えるおそれのある地域。
- 車のぶつかるような場所をさけて設置してください。
- 配線工事は必ず「電気工事士」の資格のある方が施工してください。
- 配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。
- 充電ボックス1台ごとに、必ず専用回路を設けてください。
- 傷は腐食の原因になりますので、傷をつけないよう十分に気をつけてください。
- 本製品に落下など強い衝撃を加えると故障、傷の原因になりますので丁寧に扱ってください。
- 開梱作業時は、刃物などで製品に傷をつけないよう十分に気をつけてください。
- 製品に付着したリシンやモルタル・コンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 製品に水をかけて清掃しないでください。
- 施工時の汚れ落としに、アルコール・シンナー・塩酸などは使用しないでください。
- 水抜き穴をふさがないでください。
- 施工後、鍵・取扱説明書・施工説明書・保証書をお客様にお渡しください。



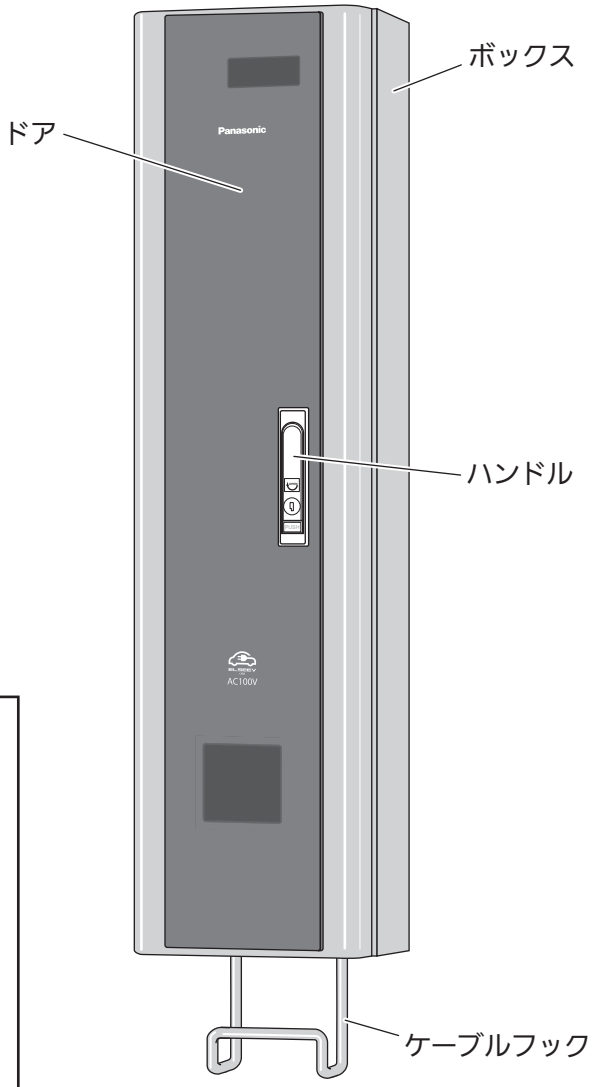
製品構成と各部のなまえ

充電ボックス本体

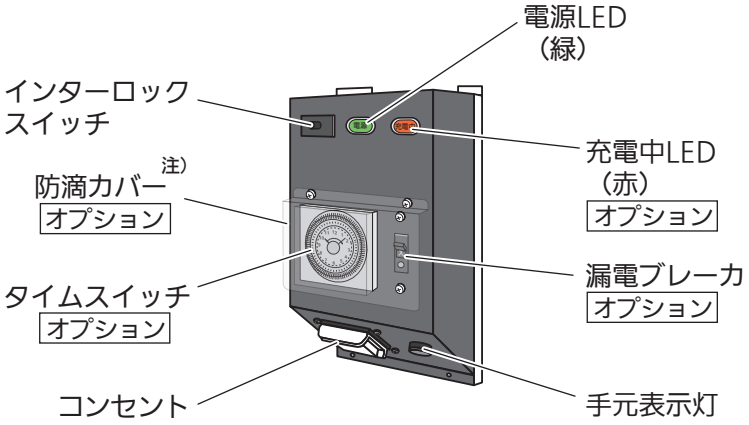
【標　準】



【収納スペース付】

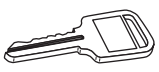


コンセントブロック

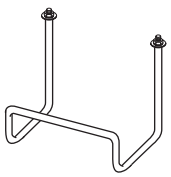


注）タイムスイッチまたは漏電ブレーカを追加した場合のセットオプションです。

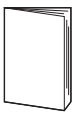
その他同梱品



鍵
（1コ）



ケーブルフック
（1コ）



取扱説明書
（1部）

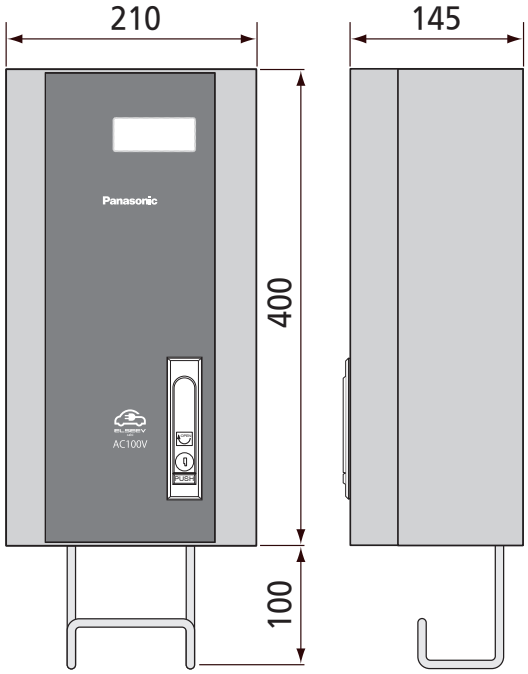
施工説明書
（1部）※本紙

仕様

製品タイプ		標　準		収納スペース付	
品　番		BPE 021	BPE 011	BPE 121	BPE 111
定格電圧・電流		AC200 V 20 A	AC100 V 15 A	AC200 V 20 A	AC100 V 15 A
使用温度範囲		－10 ℃～＋40 ℃			
寸 法（ケーブルフック含まず）		幅 210 mm ×奥行 145 mm ×高さ 400 mm		幅 210 mm ×奥行 145 mm ×高さ 800 mm	
質 量（ケーブルフック含む）		約 7 kg		約 11 kg	
防水防塵		IP44 相当（ドアを閉めた状態）			
設置方法		壁付け方式			
設置場所		屋内・屋外			
その他機能	標準装備	鍵付ハンドル・インターロックスイッチ・電源LED・手元表示灯・ケーブルフック			
	オプション装備	鍵付ハンドル（鍵番号違い）・充電中LED・漏電ブレーカ・24時間式タイムスイッチ			

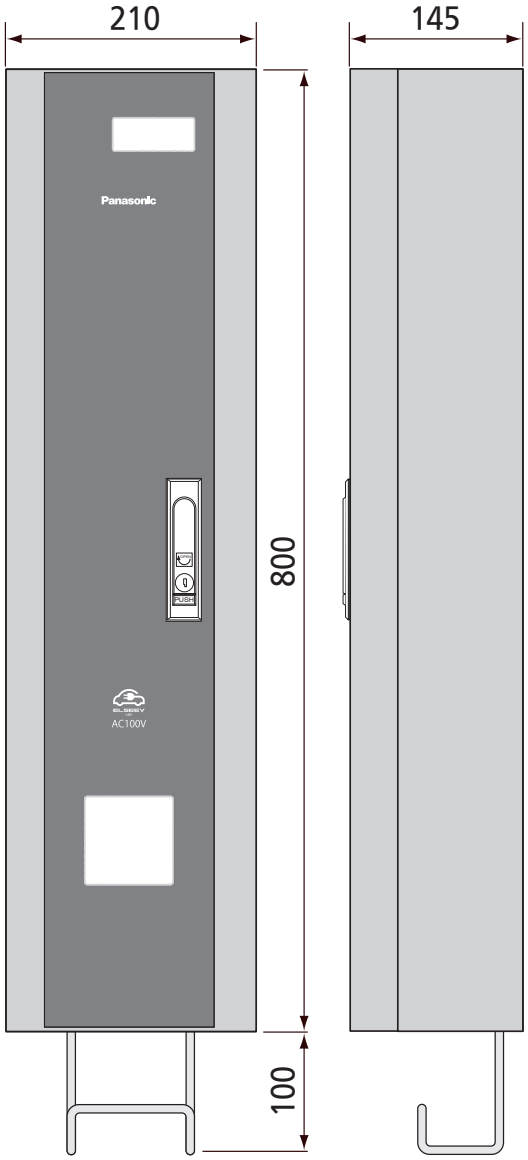
外形寸法（突起部含まず）

【標　準】



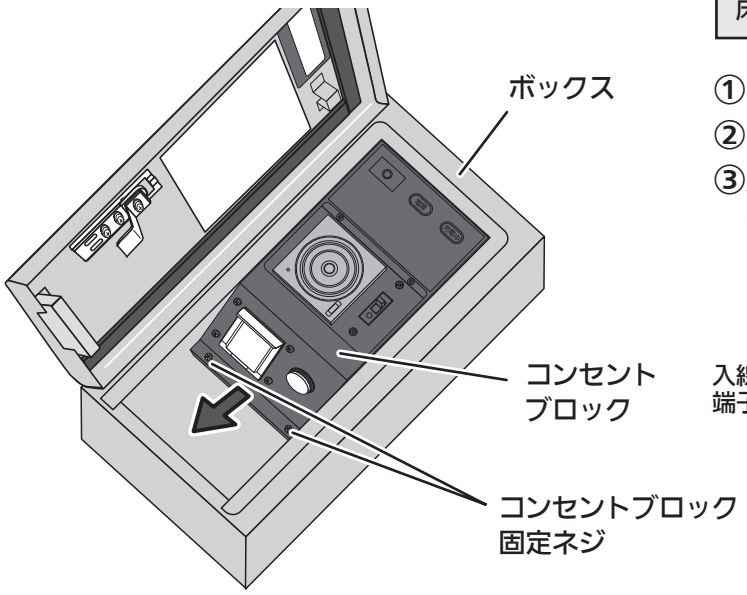
【収納スペース付】

（単位：mm）



据え付け工事

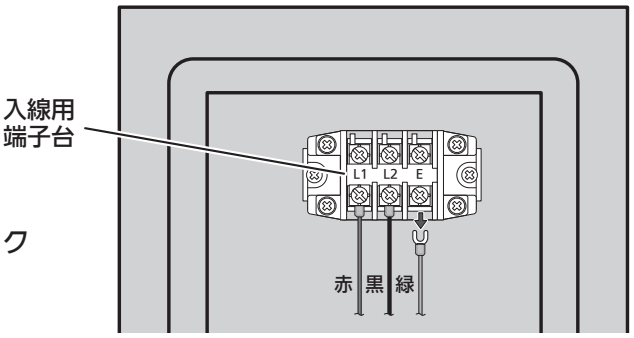
1 コンセントブロックの取外し



ご注意

床に置いた状態で取外してください。

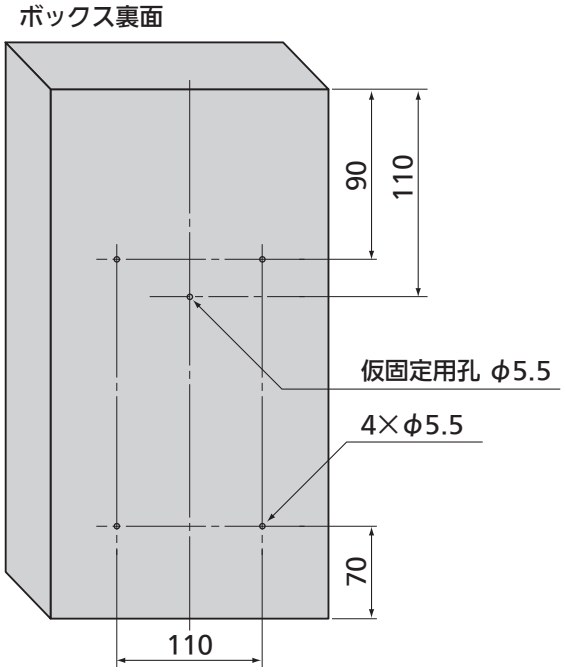
①コンセントブロック固定ネジを外す。
②コンセントブロックを下へスライドさせる。
③入線用端子台のカバーを外し、端子台から電線を外す。



④コンセントブロックを持ち上げ、取外す。

2 ボックス取付孔の加工

《取付孔 加工寸法》　単位：mm



①ボックス裏面から、左図の寸法で取付孔を加工します。

ご注意

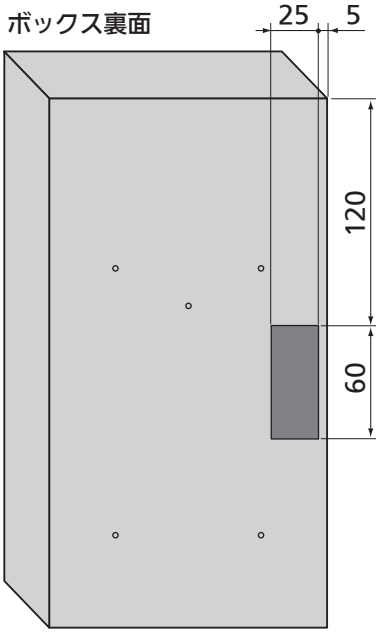
図の寸法を守らないと、コンセントブロックが取付けできなくなる場合があります。

※ 仮固定の孔が必要な場合は上図の位置に孔加工してください。

配線を裏面から入線する場合

下図の■の範囲内で通線孔を開けてください。

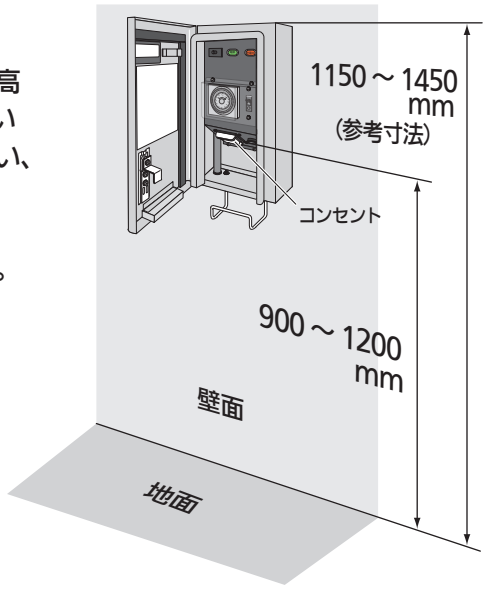
単位：mm

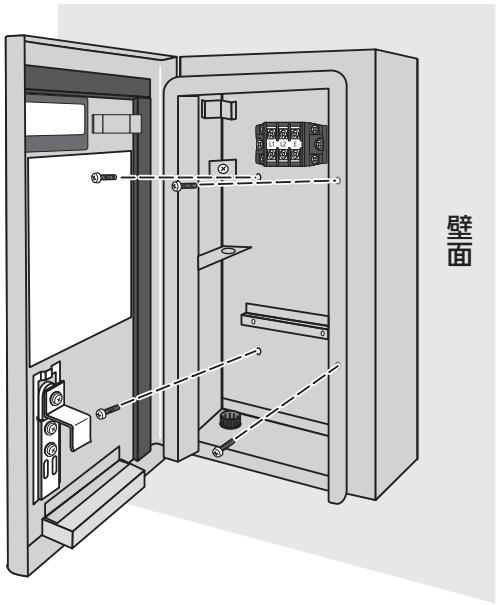


3 壁面への取付け

取付け高さについて

内線規程ではコンセントの取付け高さが地上 300 mm 以上とされていますが、電源プラグが差込みやすい、地上 900 mm ～ 1200 mm の高さにコンセントの位置がくるよう取付けをおすすめします。





①壁材に適したネジを選定し、壁面へ確実に固定する。

※ 充電ボックスを取付ける壁面は平らな面を選定してください。

推奨ネジサイズ

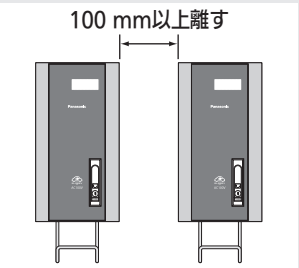
ネジ径 5 mm × 長さ 35 mm 程度

＊ネジ頭の高さは 6 mm 以下のものをご使用ください。

ご注意

隣接取付けをする場合は、左右の間隔を 100 mm 以上離してください。

＊ 100 mm 以下で取付けるとドア同士が当たる場合があります。

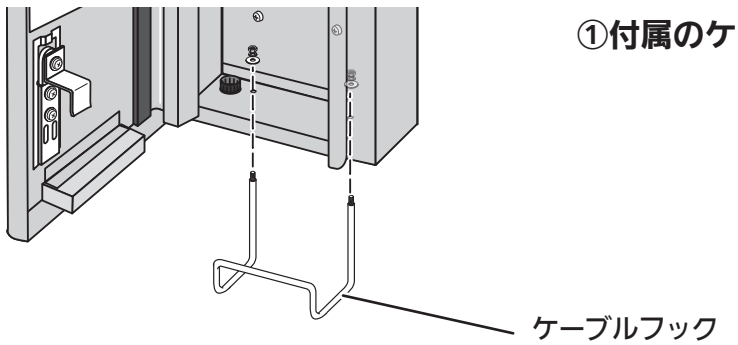


②ボックスと壁面のすきまを全周コーキング処理する。

※ 水抜き穴をふさがないでください。

4 ケーブルフックの取付け

①付属のケーブルフックを図のように取付ける。

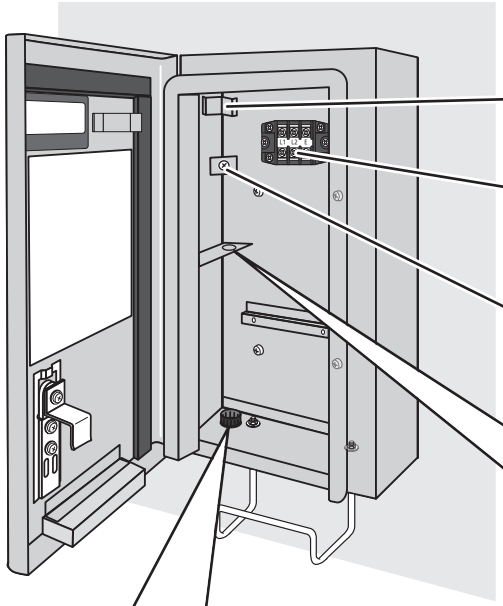


電気配線工事

ご注意

- 配線工事は必ず「電気工事士」の資格のある方が施工してください。
- 配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。
- 充電ボックス1台ごとに、必ず専用回路を設けてください。
- 必ず１回路につき１個の漏電ブレーカを設置してください。
- D種接地工事（接地抵抗100 Ω以下）を行ってください。
- 配線は十分に余長をとり、結束バンドで、適所に固定してください。
- 入線用端子台への配線は確実に接続してください。

1 入線用端子台への電線の入線と接続



①ボックス下面の通線孔または裏面の加工した通線孔から電線を入線する。

適合電線

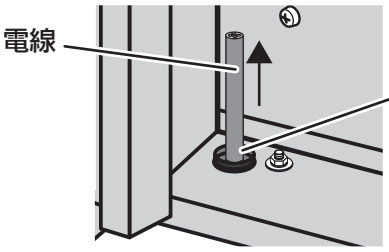
単　線：φ2.6（4芯）
より線 ：3.5 mm² ～ 5.5 mm²（4芯）

＊ より線を使用する際は適正サイズの圧着端子を使用してください。

②内部通線孔とケーブルサポート内を通して入線用端子台まで電線を引き入れる。

①

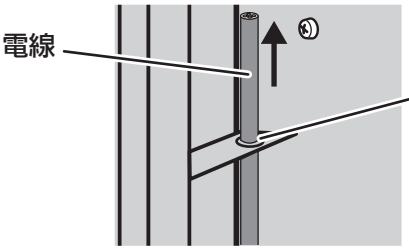
ボックス下面からの入線例



＊ PF 管
（呼び 22）
接続可能

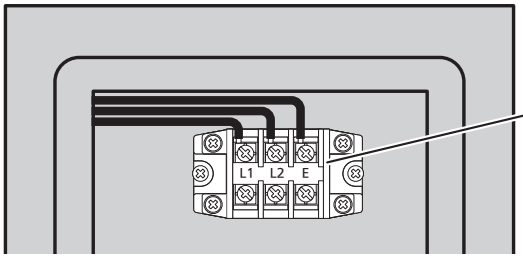
②

ボックス下面からの入線例



＊ 切込みを入れてご使用ください。

AC200 V 接続例

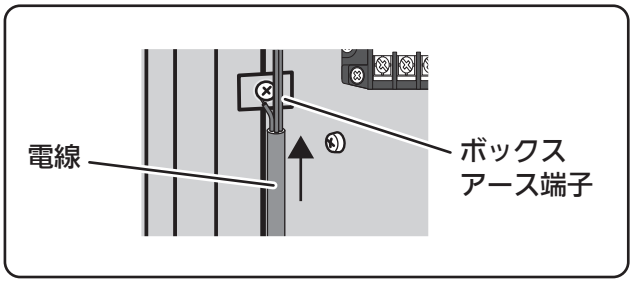


③入線用端子台へ電源線を接続する。

＊ 上側の端子に接続してください。
L1･L2：1φ2W 200 V
E　：アース線

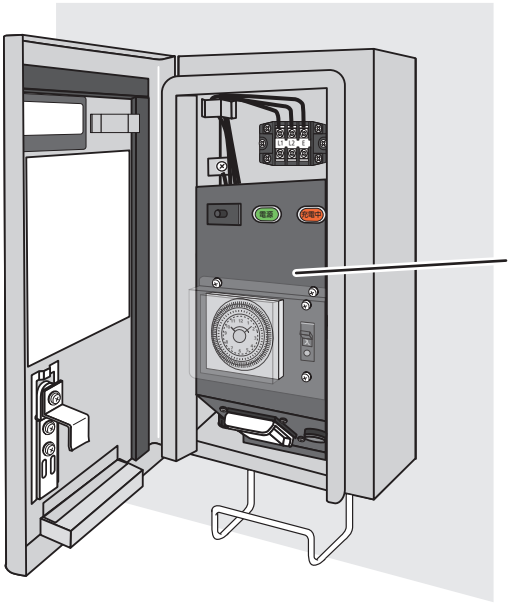
＊ 適正締付トルク：1.5 N･m

④ボックスアース線を接続する。



＊ 適正締付トルク：2.4 N･m

2 コンセントブロックの取付け



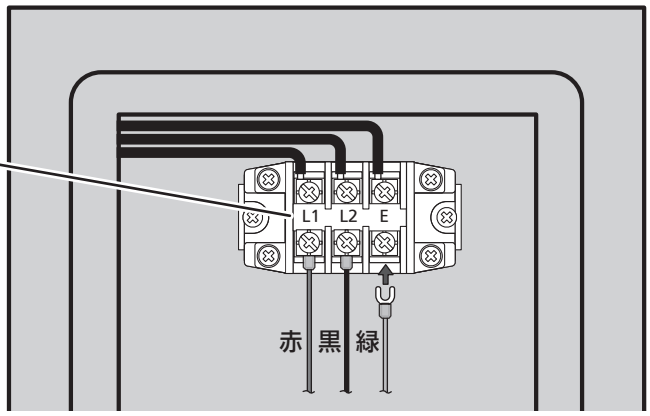
①コンセントブロックをボックス内へ入れる。

ご注意

コンセントブロックをしっかり押さえて
落下などに注意して取付けてください。

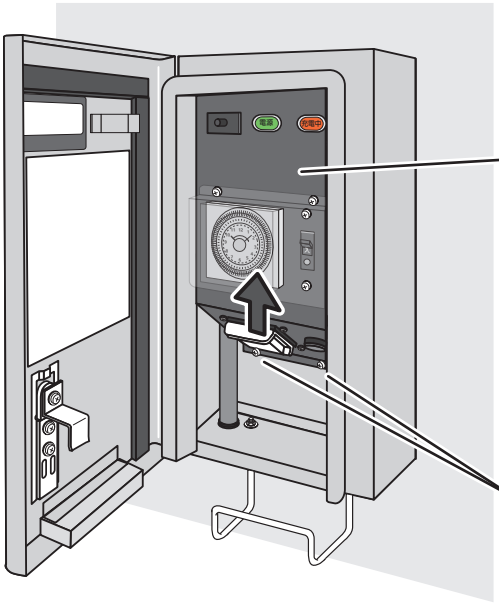
②入線用端子台へコンセントボックスの電線を接続する。

＊ 取外した場所へ元通りに接続してください。



＊ 適正締付トルク：1.5 N･m

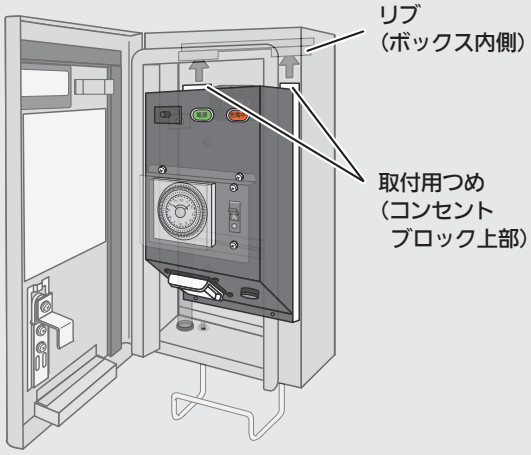
※ 接続後、端子カバーを取付けてください。



③コンセントブロックを上へスライドさせる。

ご注意

コンセントブロック上部の取付用つめがボックス内側の
リブの下へ入るようにスライドさせてください。



④コンセントブロックを固定ネジで固定する。

動作確認

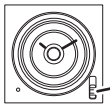
施工完了後、巻末のチェックリストに基づいて、施工確認および動作確認を実施してください。

コンセントブロックの動作確認方法

EV専用ブレーカをONにして、動作を確認してください。

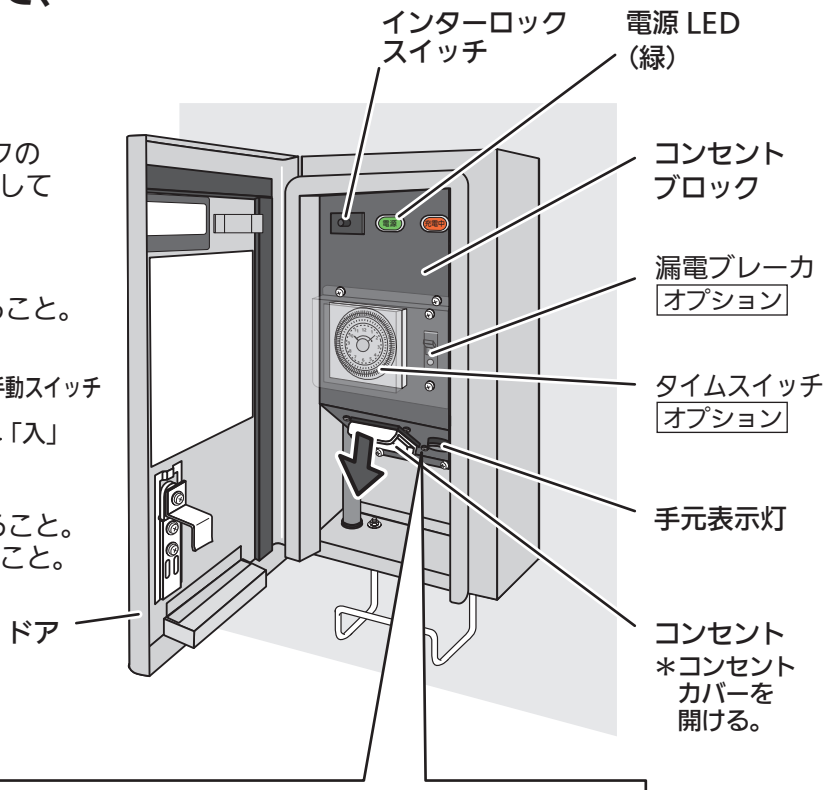
〈確認項目〉

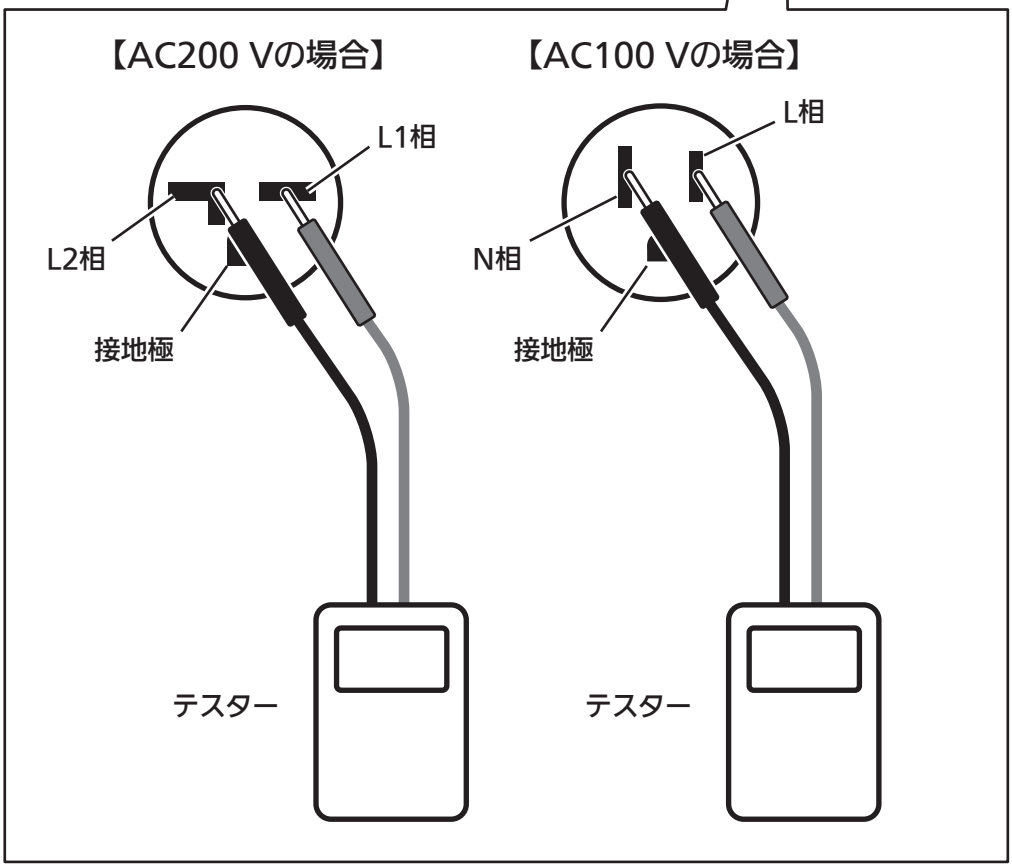
- EV専用ブレーカおよびコンセントブロックの漏電ブレーカ オプション をON(「入」)にして電源LED（緑）が点灯すること。
  （ドアを開けると電源LEDは消灯します）
- ドアを開けた状態で手元表示灯が点灯すること。
- タイムスイッチ オプション 付の場合は、手動スイッチを「入」にする。



- コンセントの各相にテスターを接続してドアを閉めたとき、定格電圧が出力されること。
  また、ドアを開けたとき電圧は0 Vであること。

※ テスターを接続した状態でドアを閉められない場合は、インターロックスイッチを押して動作を確認してください。





施工確認チェックリスト

施工完了後は、必ず下表にあげた項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず修正、修理を実施してください。

施 設 名 ：　　**施 工 日 ：**

施 主 名 ：　　**工事店名：**

施工 責任者	施工 担当者

【据え付け工事後のチェック項目】　　判 定

取付状態	1	ボックスの傾きはありませんか？	
	2	ボックスは、がたつきなく固定されていますか？	
	3	コンセントブロックは、がたつきなく固定されていますか？	
	4	水抜き穴はふさいでいませんか？	
	5	ボックスと壁面のすきまはコーキング処理しましたか？	
	6	ケーブルフックは取付けましたか？	
	7	ドアの施錠はできますか？	

【電気配線工事後のチェック項目】　　判 定

配線工事	1	配線は正しく確実に配線・接続されていますか？	
	2	アース線はD種接地工事がされていますか？	
	3	EV専用ブレーカの定格容量は正しいですか？	
	4	接続部の締付け確認は実施しましたか？	
動作確認	1	EV専用ブレーカをONにして電源LED（緑）が点灯しますか？	
	2	ドアを開けたとき手元表示灯が点灯しますか？	
	3	充電ボックスのドアを閉めたとき定格電圧が出力されますか？	

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 本資料の記載内容は、2012年 1 月現在のものです。
■ 製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012
8M8 256 003
PC0411-20112